

# 私の想い

## 《将来の夢》



大崎中学校 3年  
山崎 葵

私の将来の夢は、獣医になることだ。獣医になりたいとたくさん苦しみ動物を助けたいという思いがある。しかし、獣医になるということは、動物の命を救うことだ。きつと、たくさん死に立ち会うことになるだろう。自分の力ではどうすることもできず、死なせてしまった命を目の前にしたとき、絶望するかもしれない。何の為に獣医になったのかと……。

それを考えると正直「獣医になりたい」という気持ちが少し揺らぐ。でも、必死に生きようとする命を放っておくことは私にはできない。だから懸命に勉強し、知識や技術を磨きより多くの命を生かしてあげたいと強く思う。

命を救うと言っているが、その一方でそこに辛い苦しい痛みや思いが伴うのであれば、死を与え、そこから解放

してあげようとする考え方があることも知っている。いわゆる「安楽死」である。「安楽死」は本当に動物を救うことになるのだろうか。それがよいことなのか、悪いことなのか今の私には判断できない。

私が求めているのは、動物たちが「できる限り幸せな最期を迎える。そのための手助けをしたい。」ということだ。

将来、本当に「死」を目の前にして、どれだけ冷静でいられるか、罪の意識で心が潰れてしまわないかわからないが、動物たちの幸せを叶えることを胸に抱いて、獣医になれるよう努力していきたい。

## 《職場体験を通して学んだこと》



大崎中学校 3年  
隈本 光陽

私は職場体験学習で大崎書店に行きました。体験が始まるまでは、学校よりは楽しそうという考えがあった。しかし、実際は本の整理、掃除、レジ業務、検品、そして、お客様の来店時は何をしていても、聞こえる声で「いらっしやいま

せ」と言わなければならない。慣れないことから体力的な疲れに加え、気疲れもあった。

なかでも難しかったのが配達業務だった。全く知らないところへ行き声をかけることが、なかなかできない。ならば知っている場所はというと緊張感から声が小さくなってしまふ。誰にでもこやかに、明るく接している店員の方々が凄く思えた。全てが初めてわからないことも多く、失敗ばかりだったが、店員の方々はすぐに対処してくれ、私たちのために時間を割き、優しく丁寧に指導してくださった。そこで聞いた言葉の一つ一つがすつと心にとまり、「頑張ろう」という意欲につながった。

また三日間の職場体験で、心底働くことの大変さを実感した。一見簡単そうにしている作業も細やかな気遣いがあり、一方でそれを表面に出さず、全く疲れを感じさせない姿は、尊敬するにあたる。

これまでは、働く家族に対し、「やりたくない」という気持ちから家事はあまりしていなかった。しかし、家族が大変な仕事を外でこなし、疲れている中で私たちの世話をすることは、当たり前でないのだ。これからは、自分から積極的に手伝うようにしたい。

# 編集後記

各地で温暖化による集中豪雨での災害や、長野県と岐阜県にまたがる御嶽山が噴火し、突然の噴煙に巻き込まれ多くの死傷者が出ました。紅葉が美しい秋の休日を楽しまれていた方々の大惨事に、胸の痛み思いであります。

日本列島には多くの活動火山があります。我が鹿児島にも桜島があり、いつ大爆発するか今回の大惨事に改めて火山噴火の恐ろしさを知ることでした。

明るい話題として、次期気象衛星ひまわり8号の打ち上げ成功。観測能力は約50倍に上がるということで予報の向上が期待されます。さらに、南九州市知覧出身の赤崎勇さんが、ノーベル物理学賞を受賞され、本当に素晴らしいことです。さて、心配された台風19号は、本町においては大きな被害もなく安堵しているところです。

朝夕冷たさを感じる今日この頃になりましたが、お身体ご自愛ください。

（宮本 昭一）  
議会広報広聴常任委員会

委員長 宮本昭一 副委員長 小園孝一  
委員 上原正一 委員 吉原信雄  
委員 神崎文男 委員 諸木悦朗  
発行責任者 大崎町議会議長 中倉 毅